

Web版防災ハザードマップ手引き

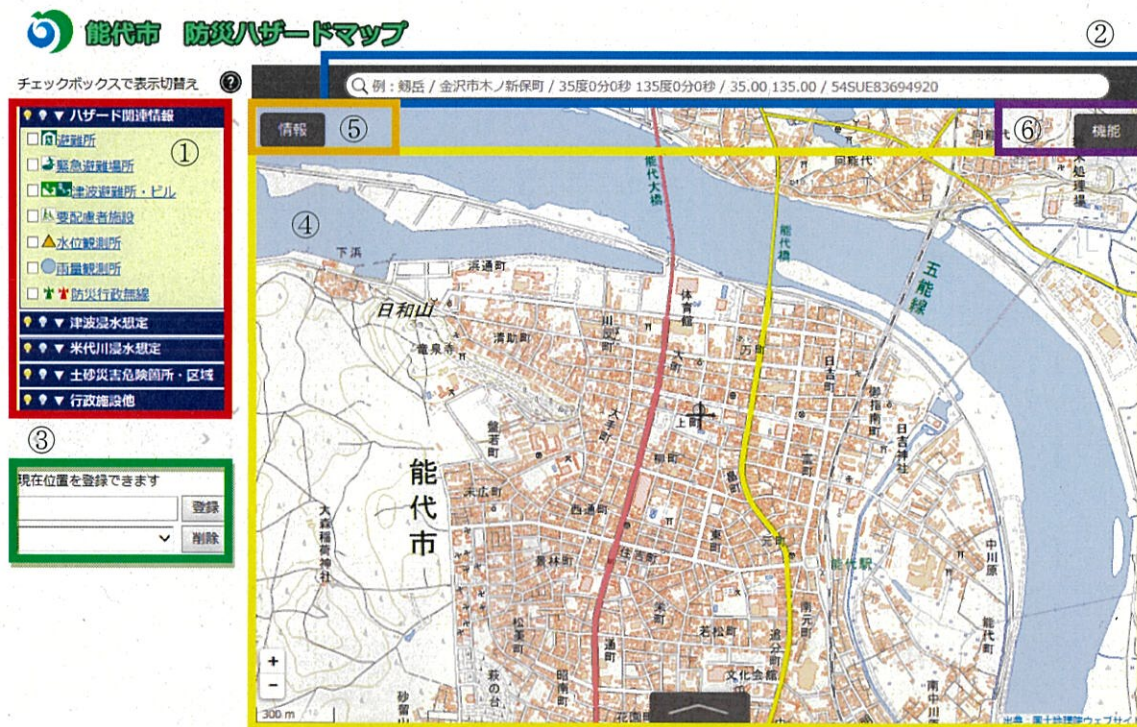
目次

1. 機能概要

- 1. 1 項目の表示方法
- 1. 2 住所地の表示方法
- 1. 3 現在地の表示の登録方法
- 1. 4 地図の拡大・縮小方法
- 1. 5 地図図面の変更方法
- 1. 6 設定方法

2. 避難経路の作成例（洪水時）

1. 機能概要



1. 1 項目の表示方法

図面上の①（赤囲みの部分）

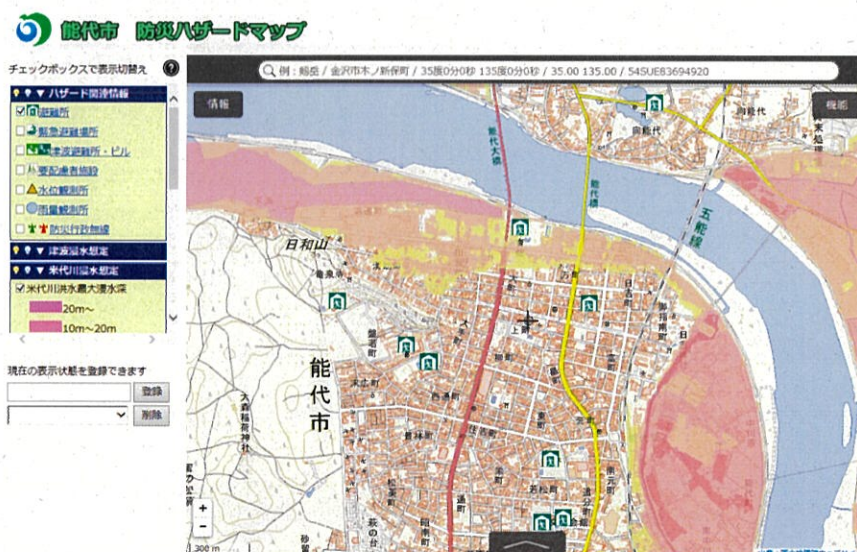
▽…グループ内の表示項目情報が表示されます。

□…チェックボックスをクリックすると、☑に変わり、その項目が地図上に表示されます。

もう一度クリックすると、☑から□に変わり、その項目が地図上から見えなくなります。

電気マーク（黄色）…グループ内のチェックボックス全てにチェックが入り、地図上に表示項目情報が表示されます。

電気マーク（青色）…グループ内のチェックボックス全てにチェックが解除され、地図上から表示項目情報が見えなくなります。



図面上の②（青囲みの部分）

検索結果をクリックすると地図上に入力された住所地が表示されます。

図面上の③（緑囲みの部分）

下のカーソルで登録した住所地をしていると、登録時の図面が表示されます。

登録した住所地を指定し、削除ボタンを押すと、登録した図面が削除されます。

図面上の④（黄色囲みの部分）

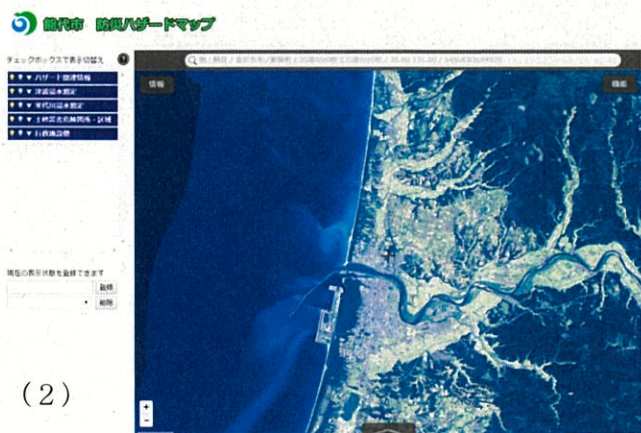
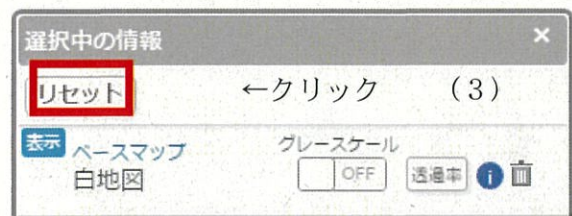
地図画面上右下の「+」または「-」をクリックすることでも拡大・縮小できます。

ダブルクリックで拡大します。

図面上の⑤（オレンジ囲み部分）

例えば図（１）上で写真をクリックすると、図（２）写真が表示されます。

図（３）のリセットの項目をクリックすると、初期設定の標準地図に切り替わります。



1. 6 設定方法

国土地理院が作成している操作マニュアルをご参照ください。

下記がダウンロードURLです。

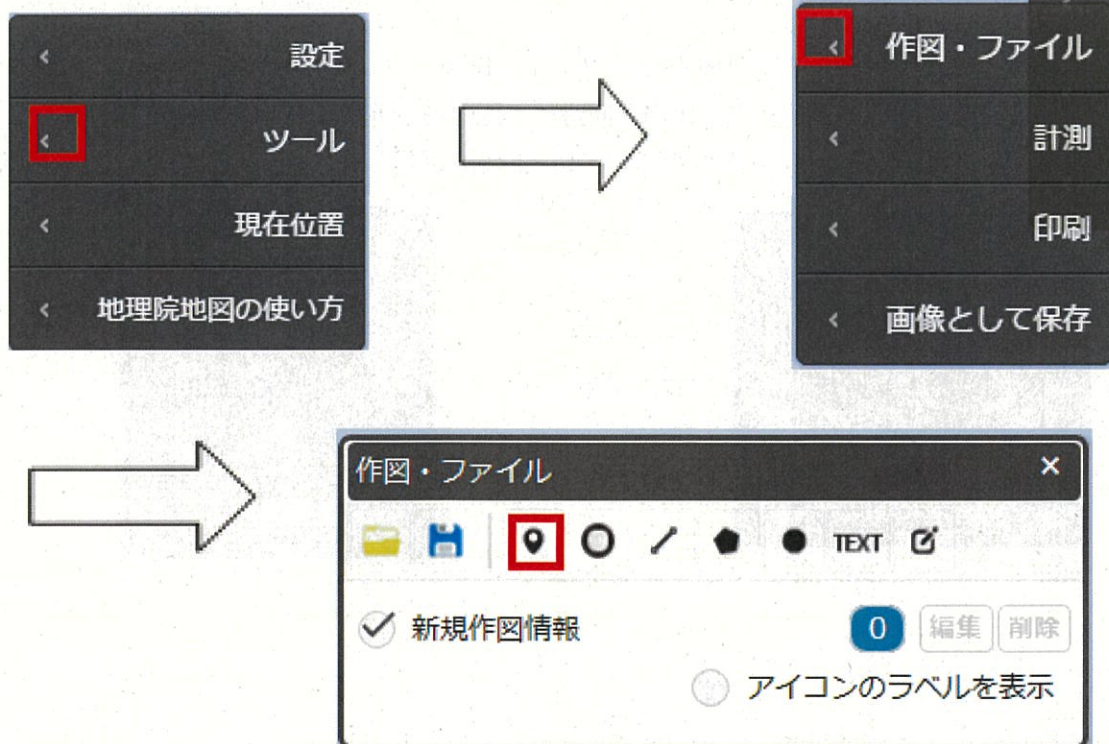
<http://maps.gsi.go.jp/help/pdf/GSIMaps.pdf>

2. 避難経路の作成例（洪水時）

能代市 防災ハザードマップ



- ① 青色囲みに、自宅や勤務地等の住所地を入力し、enter を押すと、検索結果が表示されます。検索結果をクリックすると地図上に入力された住所地が+のマークで表示されます。
- ② 赤囲みの機能ボタンをクリックし、ツール⇒作図・ファイル⇒マーカー（アイコン）をクリックし、図面上にマーカーを追加します。



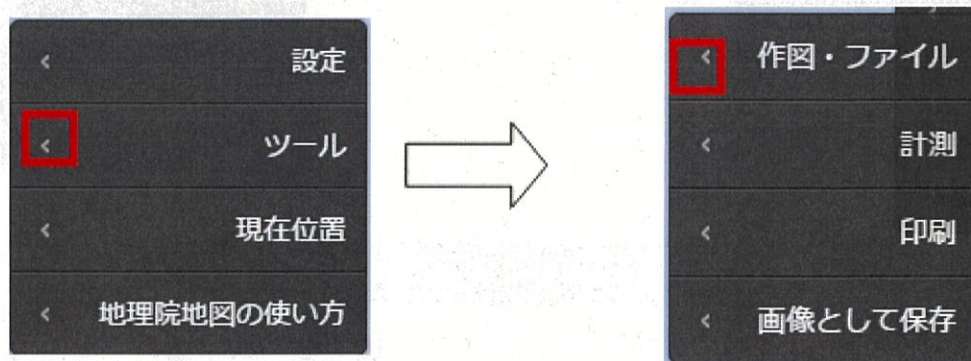
③ ハザード関連情報の追加

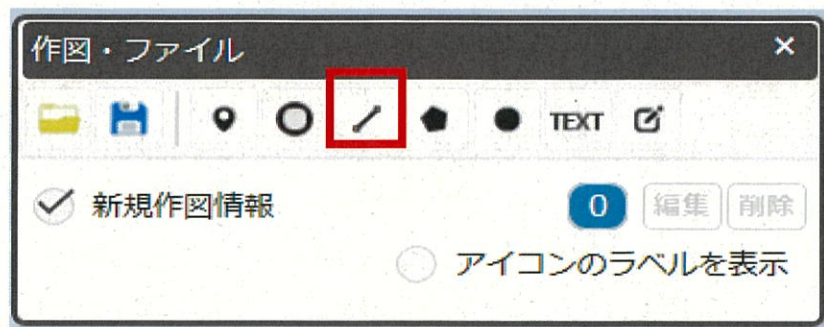
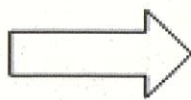
緑色で囲まれた部分の必要なハザード関連情報をクリックし、図面上に追加します。



④ 今回は洪水時の避難経路を作成するため、黄色囲みの▽米代川浸水想定⇒米代川洪水最大浸水深のチェックボックスをクリックします。クリックすると上記図面のように浸水深が表示されます。

⑤ 紫色囲みの機能ボタンをクリックし、ツール⇒作図・ファイル⇒線ををクリックし、図面上に避難経路を作図します。作図と同時に、距離を計測することも可能です。避難所・避難場所を決め、浸水深が浅いルート等を選択します。

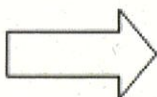
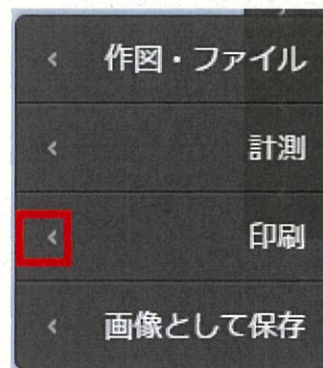
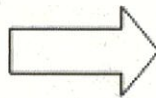
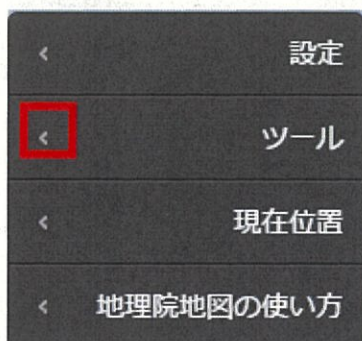




- ⑥ ⑤紫色囲みの機能ボタンをクリックし、ツール⇒作図・ファイル⇒印刷をクリックすることで、作図した避難経路を印刷することができます。

また、画像として保存をクリックすることで保存することも可能です。

これで、現在地（自宅・勤務地）から避難所・避難場所までの避難経路の作図が完了です。



右の図面が完成した避難経路です。

作成例を基に、避難経路を作成し、実際に避難経路を歩いてみるなどして災害に備えましょう。

